

令和4年度 市民アンケート調査 基本集計結果概要

1 調査概要

満18歳以上3,000人の市民を対象に実施し、1,186人（39.5%）が回答

2 調査結果

(1) 現在の三条市の全体としての評価

「どちらでもない」が43.8%、「大変満足」又は「満足」が32.7%、「不満」又は「大変不満」が14.8%だった。

(2) 個別分野の満足度及び重要度

ものづくりのまち、アウトドアの聖地としての環境整備といった「交流人口の拡大」や「市民の健康づくりの推進」「上下水道の整備」といった項目に対する満足度が高い一方、公共交通の利便性といった「公共交通対策の拡充」や「道路網の整備」「空き家対策の推進」といった項目に対する満足度が低い。

また、医療人材の確保、救急搬送体制の強化等といった「医療体制の充実」や円滑な除雪等といった「除雪体制の維持」に関する取組などが今後特に重要と認識されている。

(満足度)

順位	項目	満足度
1	交流人口の拡大	3.150
2	市民の健康づくりの推進	3.078
3	上下水道の整備	3.070
4	行政サービスの向上	3.066
5	商工業の振興	3.062
35	雇用対策の推進	2.768
36	社会インフラの整備	2.673
37	空き家対策の推進	2.606
38	道路網の整備	2.604
39	公共交通対策の拡充	2.565

(重要度)

順位	項目	重要度
1	医療体制の充実	4.293
2	除雪体制の維持	4.123
3	子育て環境の充実	4.114
4	社会インフラの整備	4.104
5	道路網の整備	4.074
35	生涯学習の推進	3.466
36	移住、定住の支援対策	3.431
37	生きがいづくりへの支援	3.383
38	スポーツ活動の充実	3.372
39	文化、芸術の振興	3.339

(3) 個別分野の市民ニーズ度

各項目の「重要度」から「満足度」を減じた「市民ニーズ度」では、重要度が最も高かった「医療体制の充実」に関する施策へのニーズが最も高く、次いで満足度が最も低かった「公共交通対策の拡充」、交通利便性の強化等といった「道路網の整備」が続いている。

(市民ニーズ度)

順位	項目	ニーズ
1	医療体制の充実	1.520
2	公共交通対策の拡充	1.491
3	道路網の整備	1.470
4	社会インフラの整備	1.431
5	除雪体制の維持	1.344
35	生涯学習の推進	0.463
36	交流人口の拡大	0.423
37	文化、芸術の振興	0.422
38	スポーツ活動の充実	0.374
39	生きがいづくりへの支援	0.373

(4) 将来に対する意識

今後も三条市に住み続けたい(「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」)市民の割合は71.7%、「どちらかと言えばそう思わない」又は「そう思わない」は9.0%

住み続けたいと思わない主な理由は「交通の便が悪いから(45.8%)」「医療体制、福祉サービスの面で不安があるから(38.3%)」「老後の生活が不安だから(34.6%)」となっている。

また、将来に対する悩みや不安として「自分や家族の健康・病気のこと(62.2%)」、「生活のための収入・貯金のこと(50.6%)」、「子どもや孫の将来のこと(33.7%)」を上げる割合が高かった。